

2021年12月9日

～マルハニチロ「エビとカニに関する調査 2021」～

マルハニチロ株式会社 (<https://www.maruha-nichiro.co.jp/>) (所在地: 東京都江東区豊洲 3-2-20 代表取締役社長 池見 賢)は、「エビとカニに関する調査 2021」を、2021年11月9日～11月11日の3日間で、全国の15歳～59歳の男女で、エビとカニの両方を年に1回以上を食べている人を対象にインターネットリサーチで実施し、1,000名の有効回答サンプルを集計しました。(調査協力会社: ネットエイジア株式会社)

==エビについて==

どのようにしてエビを食べている? 1位「**外食**」2位「**手料理**」3位「**冷凍食品**」4位「**総菜**」5位「**弁当**」

最も好きなエビの種類 1位「**伊勢エビ**」2位「**甘エビ**」3位「**クルマエビ**」4位「**ブラックタイガー**」5位「**ポタンエビ**」

10代では1位「**甘エビ**」、北海道・東北と北陸・甲信越では1位「**甘エビ**」

エビ料理を食べたいのはどんなとき? 女性の44%が「**贅沢をしたいとき**」と回答

好きなエビ料理 1位「**エビフライ**」2位「**エビの天ぷら**」3位「**エビチリ**」4位「**エビの寿司**」5位「**エビマヨ**」

北陸・甲信越、中国・四国、九州・沖縄では「**エビチリ**」が1番人気

エビの天ぷらにつけることが多いもの 「**天つゆ**」がダントツ、「**塩**」が2位、20代では天つゆ派と塩派が拮抗

エビフライにつけることが多いもの 1位「**タルタルソース**」2位「**ソース**」

タルタルソース派は西高東低、ソース派は東高西低の傾向

「エビフライやエビの天ぷらのしっぽを食べる」46%、最も高いエリアは北陸・甲信越

エビ料理を食べに行きたい都道府県 「**北海道**」がダントツ、2位「**三重県**」3位「**富山県**」4位「**石川県**」5位「**福井県**」

==カニについて==

どのようにしてカニを食べている? 「**外食**」がダントツ、2位「**手料理**」3位「**冷凍食品**」4位「**総菜**」5位「**弁当**」

最も好きなカニの種類 1位「**タラバガニ**」2位「**ズワイガニ**」3位「**毛ガニ**」4位「**紅ズワイガニ**」5位「**花咲ガニ**」

10代では1位「**ズワイガニ**」、北陸・甲信越、東海、近畿では1位「**ズワイガニ**」

カニ料理を食べたいのはどんなとき? 1位「**贅沢をしたいとき**」2位「**旅行で**」

北海道・東北と北陸・甲信越では「**普段の食事**」が2位

好きなカニ料理 1位「**カニクリームコロッケ**」2位「**ゆでガニ**」3位「**カニの刺身**」4位「**カニしゃぶ**」5位「**カニチャーハン**」

北海道・東北では「**ゆでガニ**」が1位、「**カニしゃぶ**」と「**焼きガニ**」は近畿で人気

カニをきれいに食べる自信はある? 「**ある**」36%、北陸・甲信越と中国・四国では48%が「**ある**」と回答

カニ料理を食べに行きたい都道府県 「**北海道**」がダントツ、2位「**福井県**」3位「**石川県**」4位「**鳥取県**」5位「**兵庫県**」

==エビvsカニについて==

エビとカニ、好きなのはどっち? エビ派32%、カニ派40% 男性はカニ派、女性はエビ派が多い傾向

料理別 エビ vs カニ 「**天ぷら**」はエビ派71%、カニ派12% 「**チャーハン**」はエビ派29%、カニ派38%

==エビとカニに関する豆知識==

エビとカニに関する豆知識の認知率 「**シヤコはエビの仲間ではない**」45% 「**タラバガニはヤドカリの仲間**」42%

==エビ・カニ×芸能人・スポーツ選手==

エビ・カニのように殻を破って大きく飛躍すると思う芸能人 1位「**なにわ男子**」

一緒にカニを食べに行く「**カニデート**」をしたい芸能人 男性回答1位「**新垣結衣さん**」、女性回答1位「**吉沢亮さん**」

今年の大活躍を伊勢エビでお祝いしたいスポーツ選手 「**大谷翔平さん**」がダントツ、2位「**水谷隼さん**」

今年の大活躍を伊勢エビでお祝いしたい芸能人 1位「**浜辺美波さん**」2位「**星野源さん**」3位「**かまいたち**」

「**星野源さん**」と「**新垣結衣さん**」が夫婦揃ってTOP5にランクイン

事前調査結果

◆「エビを年に1回以上食べる」80% 「カニを年に1回以上食べる」55%

全国の15歳～59歳の男女(2,872名)に、エビとカニそれぞれについて食べる頻度を聞きました。

エビを食べる頻度では、『年に1回以上』食べる人の割合は80.3%となりました。

男女別にみると、『年に1回以上』食べる人の割合は、男性では79.1%、女性では81.1%となりました。年代別にみると、『年に1回以上』食べる人の割合が最も高くなったのは50代(89.2%)、最も低くなったのは20代(75.5%)でした。また、エリア別にみると、『年に1回以上』食べる人の割合が最も高くなったのは北海道・東北(83.0%)、最も低くなったのは九州・沖縄(73.9%)でした。【図1】

カニを食べる頻度では、『年に1回以上』食べる人の割合は54.9%となりました。

男女別にみると、『年に1回以上』食べる人の割合は、男性では58.2%、女性では52.6%となりました。年代別にみると、『年に1回以上』食べる人の割合が最も高くなったのは50代(60.3%)、最も低くなったのは20代(51.5%)でした。また、エリア別にみると、『年に1回以上』食べる人の割合が最も高くなったのは近畿(57.9%)、最も低くなったのは九州・沖縄(45.4%)でした。【図2】

「エビとカニに関する調査2021」調査結果

==エビについて==

◆どのようにしてエビを食べている？ 1位「外食」2位「手料理」3位「冷凍食品」4位「総菜」5位「弁当」

エビとカニの両方を年に1回以上食べている15歳～59歳の男女1,000名(全回答者)に、どのようにしてエビを食べているか聞いたところ、「外食」が最も高く58.2%、次いで、「手料理(食材を買って料理)」が43.1%、「冷凍食品」が34.9%、「総菜」が32.0%、「弁当」が29.1%となりました。お店で食べるという人が半数を超えましたが、手料理や冷凍食品で食べるという人も少なくないわかりました。

男女別にみると、「手料理」(男性36.4%、女性49.8%)や「冷凍食品」(男性30.4%、女性39.4%)では女性のほうが10ポイント前後高くなりました。他方、「弁当」(男性32.8%、女性25.4%)では男性のほうが7.4ポイント高くなりました。

「冷凍食品」と回答した割合は、50代では44.5%と他の年代より高くなり、「総菜」と回答した割合は、40代では40.5%と他の年代より高くなりました。

また、「手料理」と回答した割合は、近畿では50.6%と他のエリアと比べて高くなり、「冷凍食品」と回答した割合は、北陸・甲信越では44.2%と他のエリアと比べて高くなりました。【図3】

◆最も好きなエビの種類 1位「伊勢エビ」2位「甘エビ」3位「クルマエビ」4位「ブラックタイガー」5位「ボタンエビ」
10代では1位「甘エビ」、北海道・東北と北陸・甲信越では1位「甘エビ」

全回答者(1,000名)に、最も好きなエビの種類を聞いたところ、1位「伊勢エビ」(26.0%)、2位「甘エビ(ホッコクアカエビ)」(16.4%)、3位「クルマエビ」(9.1%)、4位「ブラックタイガー」(8.4%)、5位「ボタンエビ」(7.8%)となりました。

「伊勢エビ」と回答した割合は、男性では28.8%、女性では23.2%と男性のほうが高くなり、「甘エビ」と回答した割合は、男性では12.6%、女性では20.2%と女性のほうが高くなりました。ぷりぷりで食べ応えのある伊勢エビが好きという人は男性で多くなり、とろけるような甘みが特長の甘エビが好きという人は女性で多くなりました。

年代別にみると、10代では「甘エビ」(26.0%)が1位、その他の年代では「伊勢エビ」(20代 23.0%、30代 22.0%、40代 29.0%、50代 35.5%)が1位となりました。

エリア別にみると、北海道・東北と北陸・甲信越では「甘エビ」(北海道・東北 25.0%、北陸・甲信越 21.2%)が1位、その他のエリアでは「伊勢エビ」(関東 28.0%、東海 30.1%、近畿 28.1%、中国・四国 26.0%、九州・沖縄 36.4%)が1位でした。【図4】

◆エビ料理を食べたいのはどんなとき？ 女性の44%が「贅沢をしたいとき」と回答

全回答者(1,000名)に、どのようなときにエビ料理を食べたいか聞いたところ、「普段の食事(外食含む)」(70.3%)が最も高く、次いで、「贅沢をしたいとき」(41.5%)、「旅行で」(27.8%)、「おせち料理で」(17.7%)、「お正月(おせち料理除く)」(16.5%)となりました。特別な日の食事に限らず、普段の食事でもエビ料理を楽しみたいと思う人が多いようです。

男女別にみると、「贅沢をしたいとき」(男性 38.8%、女性 44.2%)や「おせち料理で」(男性 14.6%、女性 20.8%)、「お正月(おせち料理除く)」(男性 13.4%、女性 19.6%)、「記念日(結婚記念日や誕生日など)」(男性 10.0%、女性 17.2%)では男性より女性のほうが高くなりました。特別な日の食事でもエビ料理を味わいたい人は男性より女性に多いようです。

また、「贅沢をしたいとき」と回答した割合は、北海道・東北では 50.0%と他のエリアと比べて高くなり、「おせち料理で」と回答した割合は、近畿(24.2%)と中国・四国(27.3%)では他のエリアと比べて高くなりました。おせち料理にエビ料理は欠かせないと思う人は近畿や中国・四国地方に多いのではないのでしょうか。【図5】

◆好きなエビ料理 1位「エビフライ」2位「エビの天ぷら」3位「エビチリ」4位「エビの寿司」5位「エビマヨ」 北陸・甲信越、中国・四国、九州・沖縄では「エビチリ」が1番人気

全回答者(1,000名)に、好きなエビ料理を聞いたところ、1位は「エビフライ」(51.3%)、僅差で2位は「エビの天ぷら」(49.4%)、3位「エビチリ」(46.1%)、4位「エビの寿司」(41.7%)、5位「エビマヨ」(36.7%)となりました。

男女別にみると、「エビチリ」(男性40.0%、女性52.2%)や「エビマヨ」(男性30.6%、女性42.8%)といった中華料理で男女差が大きくなりました。

年代別にみると、50代では「エビの天ぷら」(59.5%)が1位となりました。

エリア別にみると、北海道・東北では「エビの天ぷら」(52.9%)が1位、北陸・甲信越と中国・四国、九州・沖縄では「エビチリ」(北陸・甲信越46.2%、中国・四国48.1%、九州・沖縄47.0%)が1位でした。【図6】

◆エビの天ぷらにつけることが多いもの 「天つゆ」がダントツ、「塩」が2位、20代では天つゆ派と塩派が拮抗

◆エビフライにつけることが多いもの 1位「タルタルソース」2位「ソース」

タルタルソース派は西高東低、ソース派は東高西低の傾向

全回答者(1,000名)に、「エビの天ぷら」につけることが多いものと「エビフライ」につけることが多いものを聞きました。

エビの天ぷらにつけることが最も多いものをみると、1位「天つゆ」(51.9%)、2位「塩」(35.0%)、3位「しょうゆ」(5.7%)となり、「何もつけない」(3.2%)との回答もみられました。

「塩」と回答した割合は、男性では 32.6%、女性では 37.4%と女性のほうが高くなりました。

年代別にみると、20代では「天つゆ」が 42.5%、「塩」が 42.0%と天つゆ派と塩派が拮抗する結果となり、その他の年代では天つゆ派が多数派となりました。【図7】

エビフライにつけることが最も多いのを見ると、1位「タルタルソース」(44.5%)、2位「ソース」(33.8%)、3位「マヨネーズ」(6.5%)となり、「何もつけない」は5.7%でした。

「ソース」と回答した割合は、男性では37.4%、女性では30.2%と男性のほうが高くなりました。

エリア別にみると、北海道・東北と関東では「ソース」(北海道・東北 47.1%、関東 42.4%)が1位、北陸・甲信越では「タルタルソース」と「ソース」が36.5%で同率1位、東海、近畿、中国・四国、九州・沖縄では「タルタルソース」(東海 41.6%、近畿 51.1%、中国・四国 55.8%、九州・沖縄 60.6%)が1位となり、ソース派は東高西低の傾向、タルタルソース派は西高東低の傾向にあることがわかりました。【図8】

◆「エビフライやエビの天ぷらのしっぽを食べる」46%、最も高いエリアは北陸・甲信越

全回答者(1,000名)に、エビフライやエビの天ぷらのしっぽを食べるかどうかが聞いたところ、「食べる」は45.5%、「食べない」は54.5%となりました。

食べる人の割合は、男性では49.6%、女性では41.4%と男性のほうが高くなりました。

年代別にみると、食べる人の割合が最も高くなったのは40代(49.5%)でした。

エリア別にみると、食べる人の割合は、北陸・甲信越では57.7%と高くなり、近畿では37.6%と低くなりました。【図9】

◆エビ料理を食べに行きたい都道府県「北海道」がダントツ、2位「三重県」3位「富山県」4位「石川県」5位「福井県」

全回答者(1,000名)に、エビを食べに行きたい都道府県を聞いたところ、「北海道」(47.3%)がダントツ、「三重県」(13.6%)が2位となり、3位「富山県」(11.6%)、4位「石川県」(9.3%)、5位「福井県」(5.5%)と北陸三県が続きました。北海道では甘エビやボタンエビ、北海シマエビ、幻のエビと言われるブドウエビが水揚げされます。多種多様なおいしいエビを味わう北海道旅行に行きたい人は多いのではないのでしょうか。また、伊勢エビの産地として有名な三重県、甘エビやヤマエビ(ボタンエビ)、白エビの産地として有名な富山県も高い人気を博しました。【図10】

==カニについて==

◆どのようにしてカニを食べている？「外食」がダントツ、2位「手料理」3位「冷凍食品」4位「総菜」5位「弁当」

全回答者(1,000名)に、どのようにしてカニを食べているか聞いたところ、「外食」が最も高く50.0%、次いで、「手料理(食材を買って料理)」が30.6%、「冷凍食品」が19.7%、「総菜」が12.8%、「弁当」が10.1%となりました。エビと同様にお店で食べるという人が最も多くなりました。

「冷凍食品」と回答した割合は、50代では25.5%と他の年代より高くなりました。

また、「手料理」と回答した割合は、中国・四国では44.2%と他のエリアより高くなりました。カニをスーパーで購入し、塩ゆでにしたり、カニ鍋やカニ汁にしたりして味わっている人が中国・四国には多いのではないのでしょうか。【図11】

◆最も好きなカニの種類 1位「タラバガニ」2位「ズワイガニ」3位「毛ガニ」4位「紅ズワイガニ」5位「花咲ガニ」 10代では1位「ズワイガニ」、北陸・甲信越、東海、近畿では1位「ズワイガニ」

全回答者(1,000名)に、最も好きなカニの種類を聞いたところ、1位「タラバガニ」(32.0%)、2位「ズワイガニ」(29.1%)、3位「毛ガニ」(7.9%)、4位「紅ズワイガニ」(4.9%)、5位「花咲ガニ」(1.9%)となりました。タラバガニとズワイガニの人気が高い結果となりました。

年代別にみると、10代では「ズワイガニ」(33.0%)が1位、その他の年代では「タラバガニ」(20代 29.5%、30代 33.0%、40代 39.5%、50代 39.5%)が1位となりました。

エリア別にみると、北海道・東北と関東、九州・沖縄では「タラバガニ」(北海道・東北 28.8%、関東 35.9%、九州・沖縄 33.3%)が1位、北陸・甲信越と東海、近畿では「ズワイガニ」(北陸・甲信越 30.8%、東海 31.9%、近畿 38.8%)が1位、中国・四国では「タラバガニ」と「ズワイガニ」が同率(27.3%)1位でした。また、北海道・東北では「毛ガニ」が18.3%と他のエリアと比べて高くなり、北陸・甲信越では「紅ズワイガニ」が13.5%と他のエリアと比べて高くなりました。【図12】

◆カニ料理を食べたいのはどんなとき？ 1位「贅沢をしたいとき」2位「旅行で」

北海道・東北と北陸・甲信越では「普段の食事」が2位

全回答者(1,000名)に、どのようなときにカニ料理を食べたいか聞いたところ、「贅沢をしたいとき」(65.3%)が最も高く、次いで、「旅行で」(38.1%)、「普段の食事(外食含む)」(29.4%)、「お正月(おせち料理除く)」(28.9%)、「大晦日(おせち料理除く)」(21.0%)となりました。エビ料理では、普段の食事(外食含む)で食べたいという人が最も多くなりましたが、カニ料理では、贅沢をしたいときや旅行に行ったときなど、特別な日の食事(外食含む)で食べたいという人が多いようです。

「お正月(おせち料理除く)」と回答した割合は、男性では20.4%、女性では37.4%と女性のほうが17.0ポイント高くなりました。

また、「旅行で」と回答した割合は、50代では47.5%と突出して高くなりました。

エリア別にみると、どのエリアでも「贅沢をしたいとき」が1位でしたが、2位では違いがみられ、北海道・東北と北陸・甲信越では「普段の食事(外食含む)」(北海道・東北 33.7%、北陸・甲信越 36.5%)が2位、その他のエリアでは「旅行で」(関東 37.6%、東海 41.6%、近畿 45.5%、中国・四国 35.1%、九州・沖縄 36.4%)が2位でした。カニの産地を抱える北海道・東北や北陸・甲信越では比較的安くカニが手に入るため、普段の食事(外食含む)にカニ料理を取り入れたいと考える人が多いのではないのでしょうか。【図13】

◆好きなカニ料理 1位「カニクリームコロッケ」2位「ゆでガニ」3位「カニの刺身」4位「カニしゃぶ」5位「カニチャーハン」

北海道・東北では「ゆでガニ」が1位、「カニしゃぶ」と「焼きガニ」は近畿で人気

全回答者(1,000名)に、好きなカニ料理を聞いたところ、1位は「カニクリームコロッケ」(45.1%)、2位は「ゆでガニ」(40.0%)、3位「カニの刺身」(33.6%)、4位「カニしゃぶ」(32.5%)、5位「カニチャーハン」(31.1%)となりました。ゆでガニやカニの刺身のようにカニをダイレクトに味わう料理よりカニクリームコロッケのほうが人気のようです。

男女別にみると、「カニクリームコロッケ」(男性39.8%、女性50.4%)や「カニグラタン」(男性21.2%、女性33.6%)、「カニの pasta(トマトクリーム pasta など)」(男性14.8%、女性31.6%)といった洋食で男女差が大きくなりました。

年代別にみると、50代では「ゆでガニ」(50.5%)が1位でしたが、その他の年代では「カニクリームコロッケ」(10代 40.5%、20代 39.5%、30代 46.0%、40代 51.0%)が1位でした。また、50代では「焼きガニ」(45.5%)が3位となりました。50代にはカニをダイレクトに味わう料理が好きという人が多いようです。

エリア別にみると、北海道・東北では「ゆでガニ」(44.2%)が1位でした。また、近畿では「カニしゃぶ」が42.1%、「焼きガニ」が39.3%と、いずれも他のエリアと比べて高くなりました。【図14】

◆カニをきれいに食べる自信はある？ 「ある」36%、北陸・甲信越と中国・四国では48%が「ある」と回答

全回答者(1,000名)に、カニをきれいに食べる自信はあるかどうか聞いたところ、「ある」は36.2%、「ない」は63.8%となりました。カニをきれいに食べる自信がある人は少数派のようです。

自信がある人の割合は、男性では39.6%、女性では32.8%と男性のほうが高くなりました。

年代別にみると、自信がある人の割合が最も高くなったのは40代(41.5%)、最も低くなったのは20代(32.5%)でした。

エリア別にみると、自信がある人の割合は、北陸・甲信越と中国・四国では 48.1%となり、カニの産地を抱える両エリアが他のエリアと比べて高くなりました。他方、最も低くなったのは東海(27.4%)でした。【図 15】

◆カニ料理を食べに行きたい都道府県 「北海道」がダントツ、2位「福井県」3位「石川県」4位「鳥取県」5位「兵庫県」

全回答者(1,000名)に、カニを食べに行きたい都道府県を聞いたところ、「北海道」(71.0%)がダントツ、2位は「福井県」(18.8%)、3位は「石川県」(14.6%)、4位「鳥取県」(10.1%)、5位「兵庫県」(8.2%)となりました。タラバガニや毛ガニを食べに北海道に行きたい人が多いのではないのでしょうか。また、2位の福井県は“越前ガニ”、3位の石川県は“加能ガニ”というズワイガニの産地です。ズワイガニを食べに北陸地方に行きたいと思う人は多いようです。【図 16】

==エビvsカニについて==

◆エビとカニ、好きなのはどっち？ エビ派 32%、カニ派 40% 男性はカニ派、女性はエビ派が多い傾向

◆料理別 エビ vs カニ 「天ぷら」はエビ派 71%、カニ派 12% 「チャーハン」はエビ派 29%、カニ派 38%

全回答者(1,000名)に、エビとカニではどちらが好きか聞いたところ、「エビが好き」が13.9%、「ややエビが好き」が17.9%で合計した『エビが好き(計)』は31.8%、「どちらも同じくらい」が28.7%となり、「ややカニが好き」が17.2%、「カニが好き」が22.3%で合計した『カニが好き(計)』は39.5%になりました。エビ派よりカニ派のほうが多いことがわかりました。

男女別にみると、男性では『エビが好き(計)』が26.6%、『カニが好き(計)』が45.2%とカニ派が多数でしたが、女性では『エビが好き(計)』が37.0%、『カニが好き(計)』が33.8%とエビ派が多数となりました。

年代別にみると、40代では『エビが好き(計)』が31.5%、『カニが好き(計)』が30.5%とエビ派とカニ派が拮抗する結果となりましたが、その他の年代ではカニ派が多数となりました。

エリア別にみると、北陸・甲信越と九州・沖縄では『エビが好き(計)』(北陸・甲信越34.6%、九州・沖縄42.4%)が、『カニが好き(計)』(北陸・甲信越32.7%、九州・沖縄36.4%)を上回る結果となりました。【図17】

続いて、全回答者(1,000名)に、エビとカニの両方を使うことがある5つの料理(天ぷら、寿司、グラタン、刺身、チャーハン)について、エビとカニではどちらが好きか聞いたところ、【天ぷら】(『エビが好き(計)』70.7%、『カニが好き(計)』12.1%)ではエビ派が圧勝という結果となりました。また、【寿司(どちらもネタはゆでたもの)】や【グラタン】、【刺身】でもエビ派(寿司46.6%、グラタン40.6%、刺身40.0%)が多数となりました。他方、【チャーハン】(『エビが好き(計)』28.5%、『カニが好き(計)』37.6%)ではカニ派が多数でした。【図18】

==エビとカニに関する豆知識==

◆エビとカニに関する豆知識の認知率 「シャコはエビの仲間ではない」45% 「タラバガニはヤドカリの仲間」42%

全回答者(1,000名)に、エビやカニに関する豆知識を提示し、知っていたかどうか聞きました。

【シャコ(蝦蛄)はエビの仲間ではないこと】では「知っていた」は 44.6%、「知らなかった」は 55.4%となりました。シャコとエビは見た目がよく似ているためシャコはエビの仲間だと思っていた人が多いのではないのでしょうか。両者は同じ甲殻類ですが、シャコは口脚目に属し、エビは十脚目に属しています。

【松葉ガニと越前ガニは産地が違うだけで同じズワイガニであること】では「知っていた」は 40.1%、「知らなかった」は 59.9%となりました。松葉ガニは山陰地方の日本海で水揚げされるズワイガニ、越前ガニは越前地方の日本海で水揚げされるズワイガニです。

【タラバガニはカニではなくヤドカリの仲間であること】では「知っていた」は 41.5%、「知らなかった」は 58.5%となりました。タラバガニは名前に“カニ”がつくためカニの仲間だと思っていた人が多いのではないのでしょうか。タラバガニは異尾下目(ヤドカリ下目)に属し、カニよりはヤドカリに近い仲間となります。【図19】

==エビ・カニ×芸能人・スポーツ選手==

◆エビ・カニのように殻を破って大きく飛躍すると思う芸能人 1位「なにわ男子」

最後に、全回答者(1,000名)に、“エビ・カニ”をテーマに、イメージに合う芸能人やスポーツ選手を聞きました。

まず、エビ・カニのように殻を破って(脱皮して)、来年、大きく飛躍すると思う芸能人を聞いたところ、1位「なにわ男子」(25名)、2位「浜辺美波さん」(13名)、3位「眞栄田郷敦(まえたごうどん)さん」(10名)となりました。今年11月にCDデビューを果たしたアイドルグループのなにわ男子が、デビューの勢いそのままにさらに大きく飛躍すると予想されているようです。【図20】

◆一緒にカニを食べに行く“カニデート”をしたい芸能人 男性回答 1位「新垣結衣さん」、女性回答 1位「吉沢亮さん」

次に、一緒にカニを食べに行く“カニデート”をしたいと思う芸能人を聞いたところ、男性回答では、1位「新垣結衣さん」(21名)、2位「綾瀬はるかさん」(16名)、3位「橋本環奈さん」と「浜辺美波さん」(どちらも15名)となりました。一方、女性回答では、1位「吉沢亮さん」(15名)、2位「佐藤健さん」(10名)、3位「中村倫也さん」(9名)となりました。今年、NHK大河ドラマ「青天を衝け」では主人公の渋沢栄一役に起用され、今年公開の映画「東京リベンジャーズ」に出演した吉沢亮さんが1位でした。【図21】

◆今年の大活躍を伊勢エビでお祝いしたいスポーツ選手 「大谷翔平さん」がダントツ、2位「水谷隼さん」

◆今年の大活躍を伊勢エビでお祝いしたい芸能人 1位「浜辺美波さん」2位「星野源さん」3位「かまいたち」 「星野源さん」と「新垣結衣さん」が夫婦揃ってTOP5にランクイン

また、今年の大活躍を伊勢エビでお祝いしたいスポーツ選手と芸能人を聞きました。

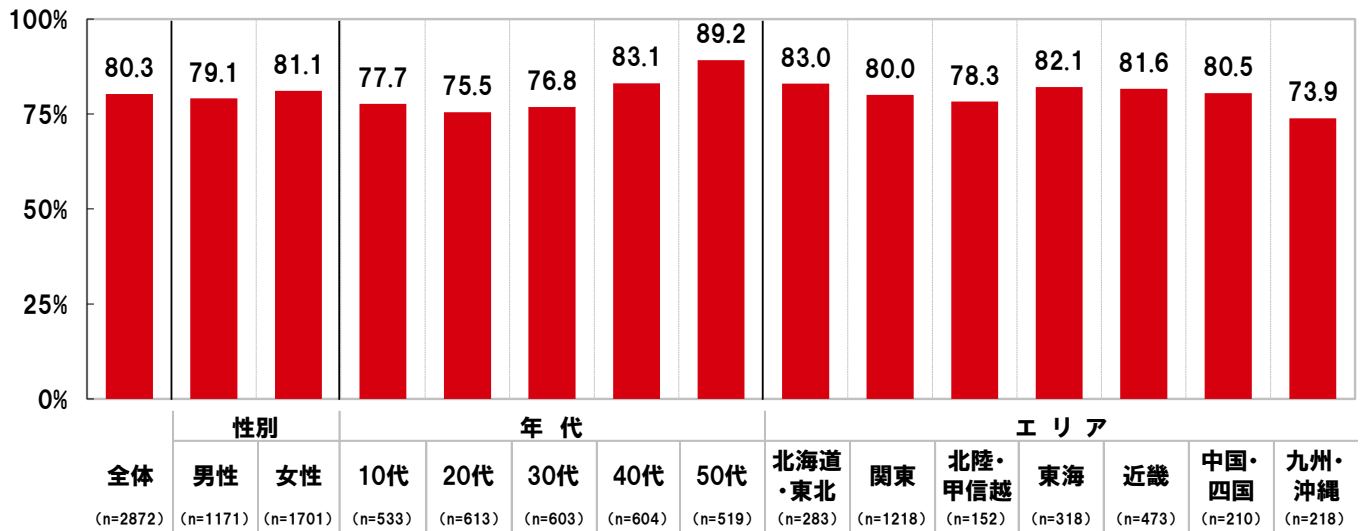
スポーツ選手では、「大谷翔平さん」(417名)がダントツ、2位「水谷隼さん」(14名)、3位「羽生結弦さん」(12名)、4位「ウルフ・アロンさん」と「伊藤美誠さん」(どちらも9名)となりました。メジャーリーグで二刀流の活躍を見せ、ア・リーグ MVPに輝いている大谷翔平さんが圧倒的な得票数で1位となりました。また、東京五輪で卓球混合ダブルス金メダル獲得の水谷隼さんと伊藤美誠さんが揃って上位にランクインする結果となりました。【図22】

芸能人では、1位「浜辺美波さん」(16名)、2位「星野源さん」(15名)、3位「かまいたち」(14名)、4位「新垣結衣さん」(12名)、5位「吉沢亮さん」(11名)となり、星野源さんと新垣結衣さんが夫婦揃ってTOP5にランクインしました。男女別にみると、男性回答では1位は「浜辺美波さん」(12名)、2位は「新垣結衣さん」(10名)、女性回答では1位は「星野源さん」(12名)、2位は「吉沢亮さん」(10名)でした。【図23】

事前調査結果 グラフ

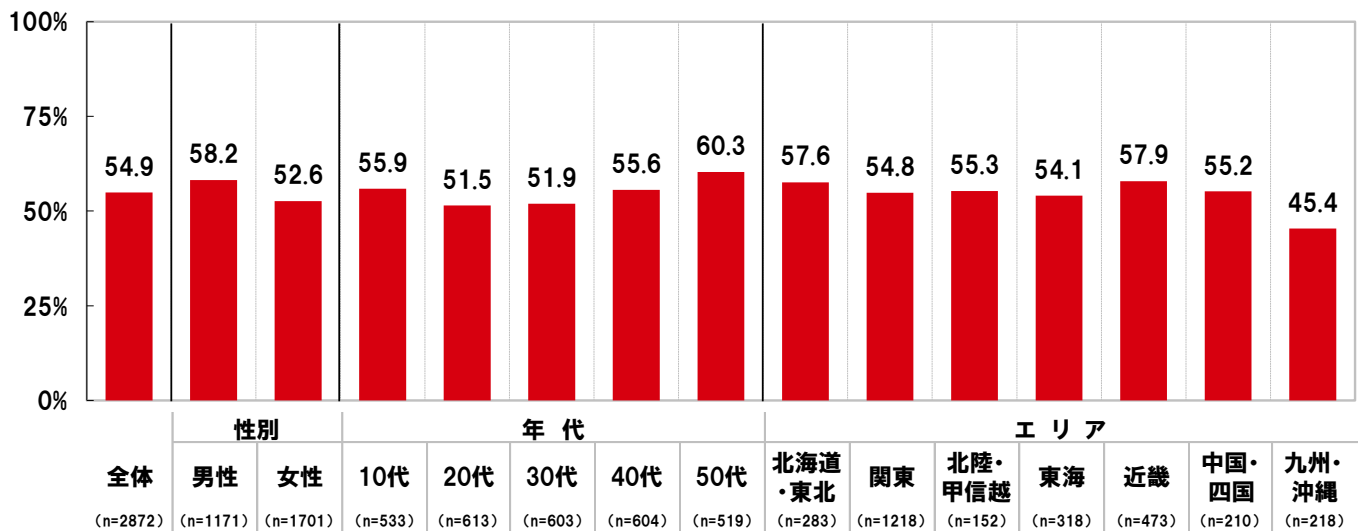
【図 1】

◆エビを年に1回以上食べる人の割合



【図 2】

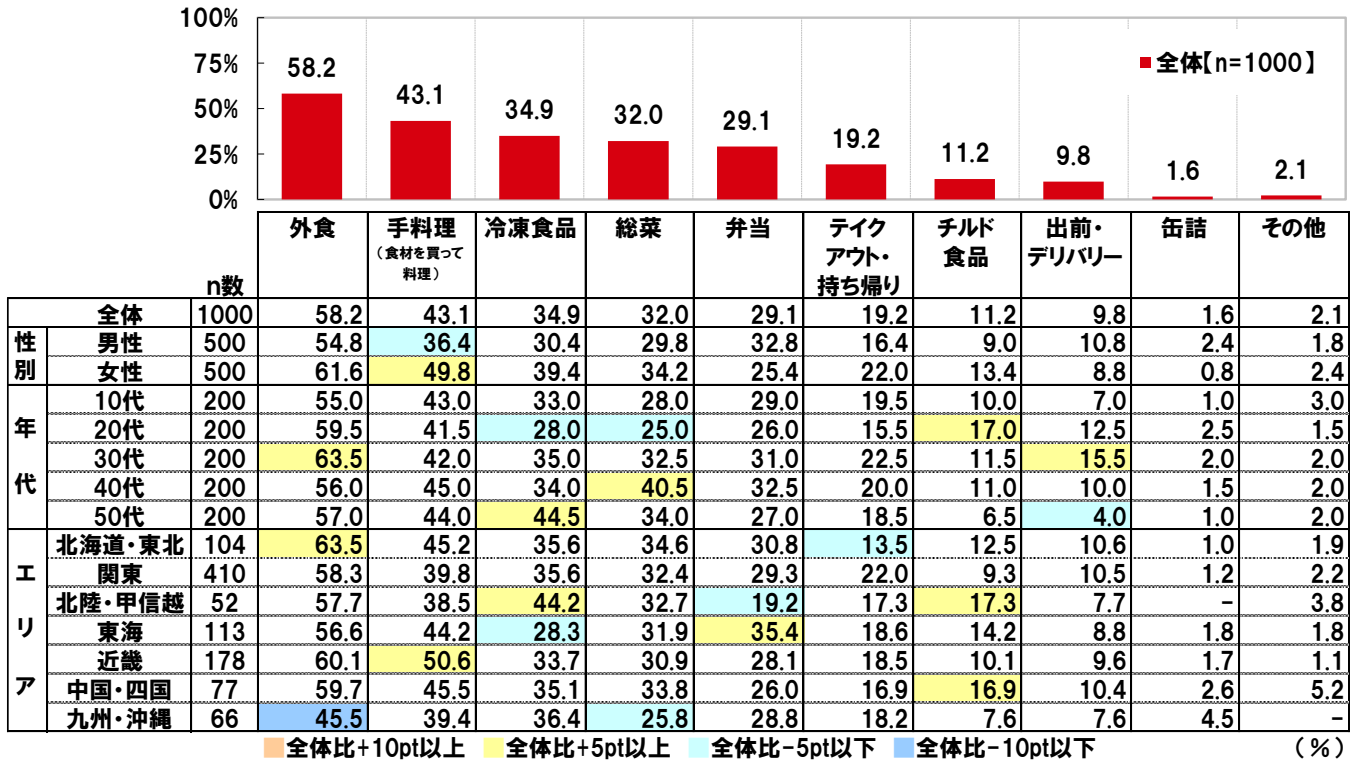
◆カニを年に1回以上食べる人の割合



「エビとカニに関する調査 2021」 グラフ集

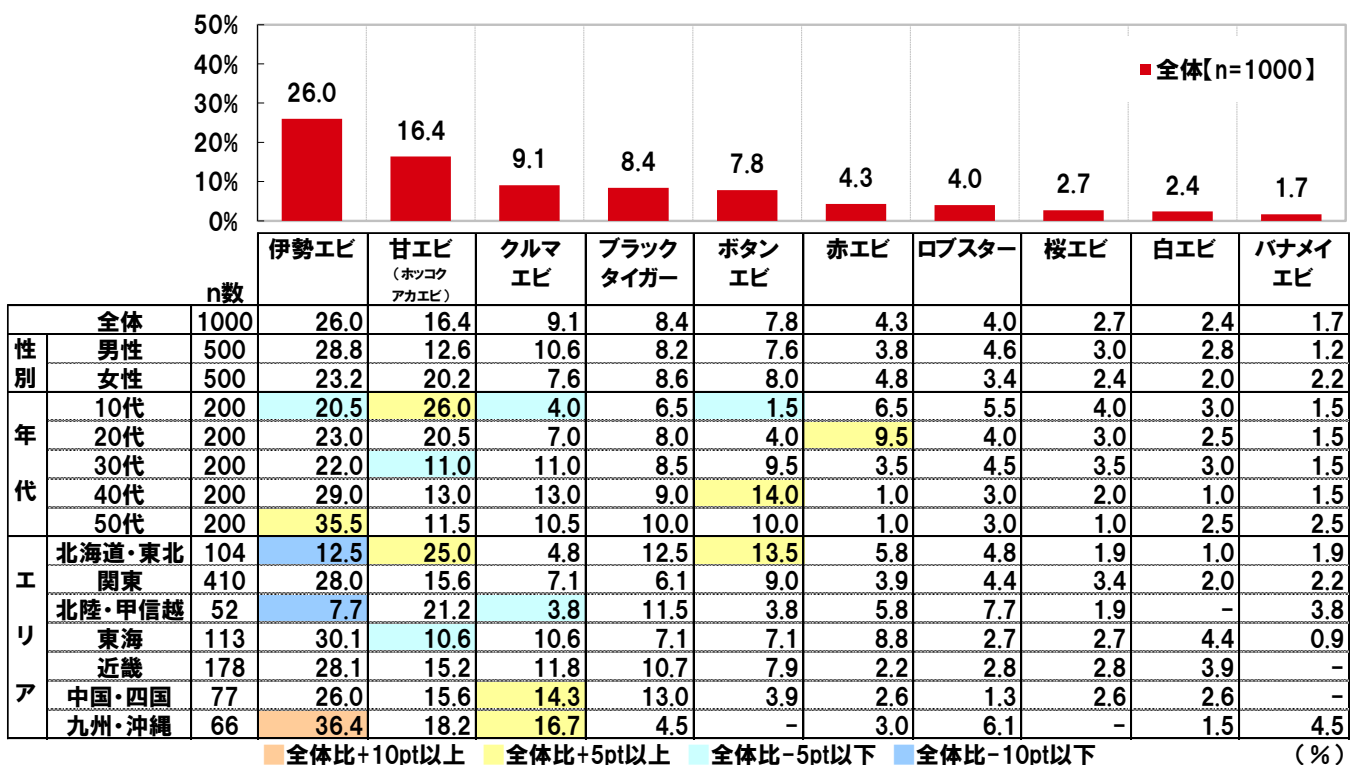
【図 3】

◆どのようにしてエビを食べているか [複数回答形式]



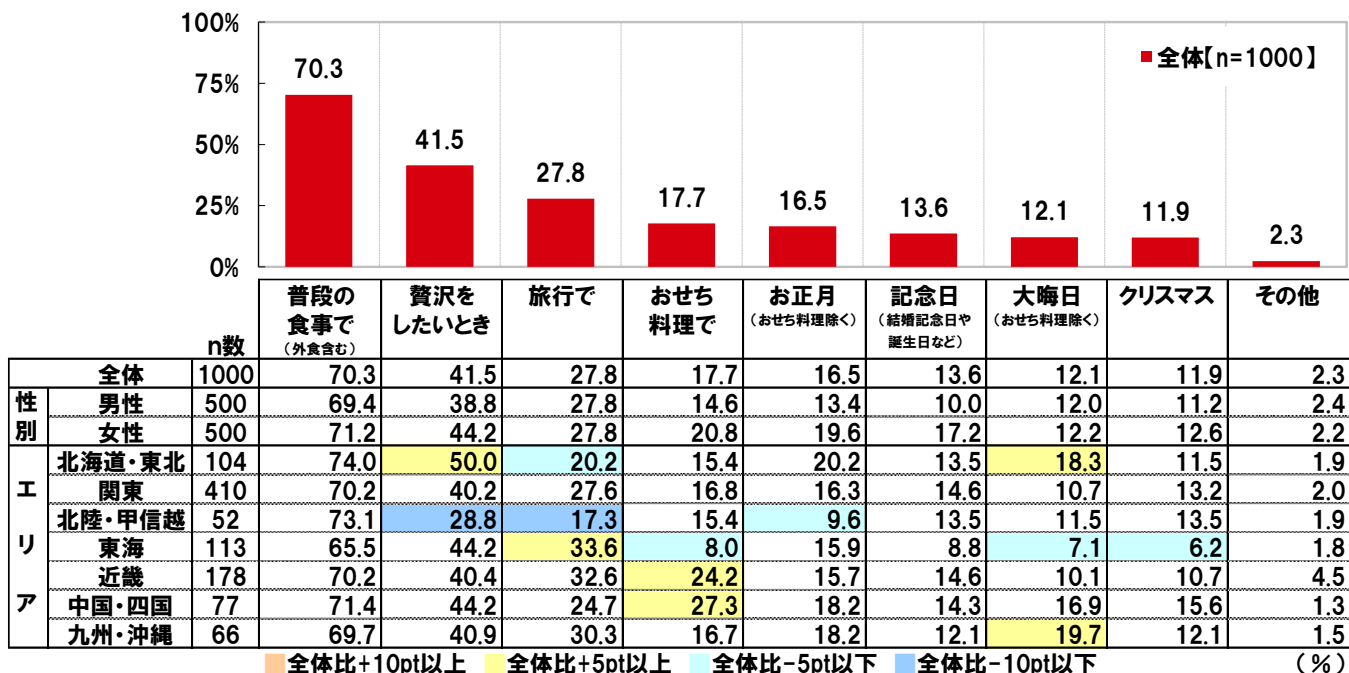
【図 4】

◆最も好きなエビの種類 [単一回答形式] ※上位10位までを表示



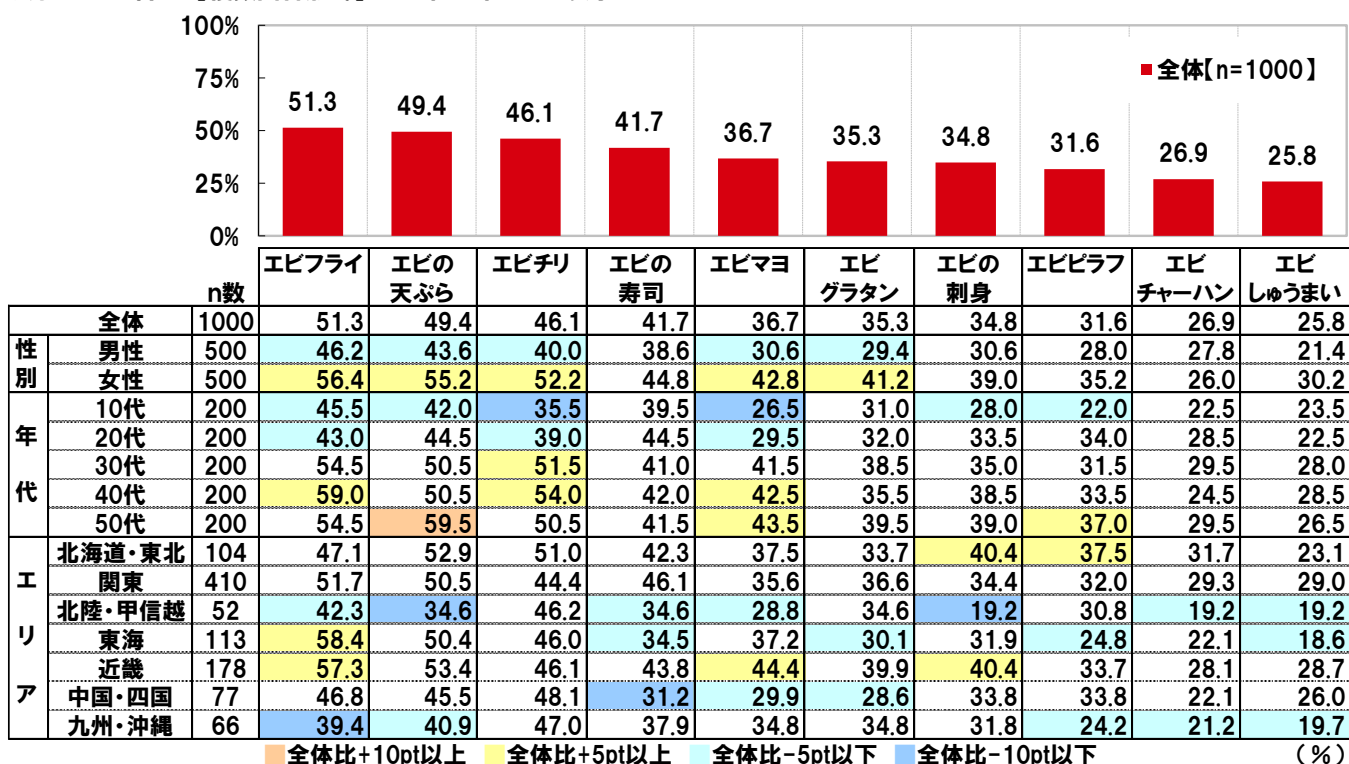
【図5】

◆エビ料理を食べたいとき [複数回答形式]



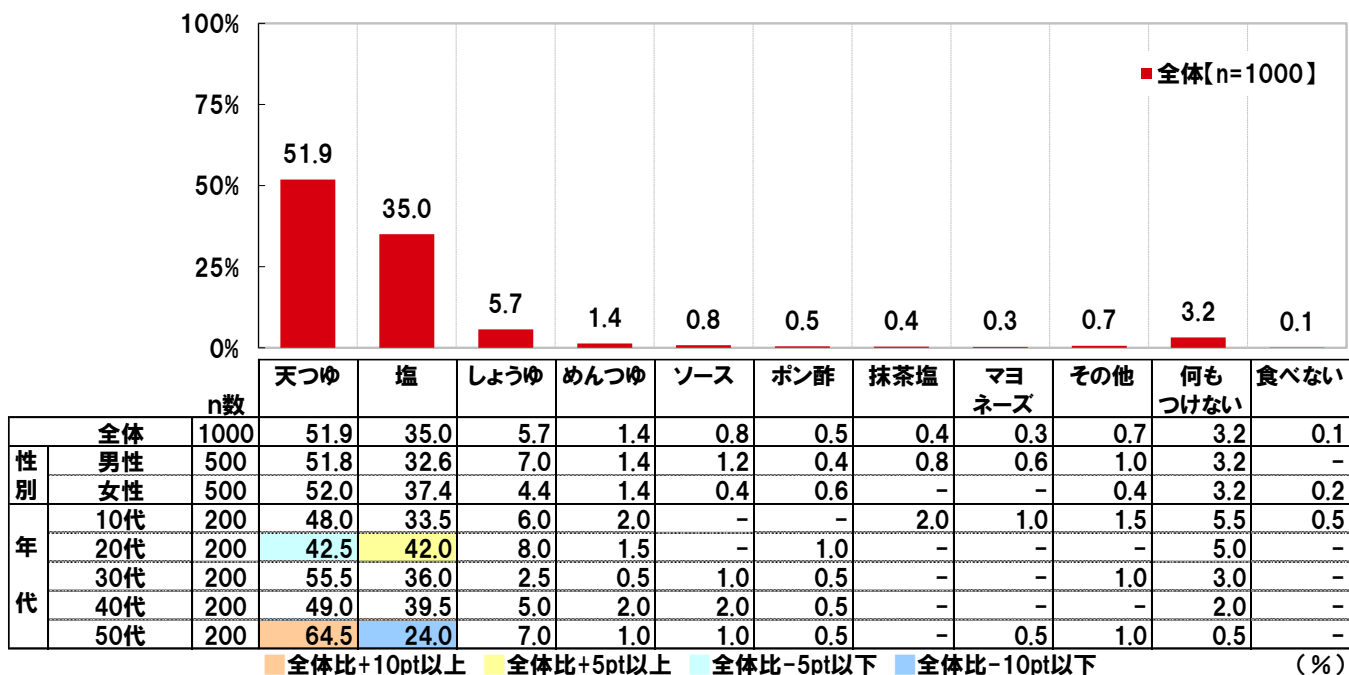
【図6】

◆好きなエビ料理 [複数回答形式] ※上位10位までを表示



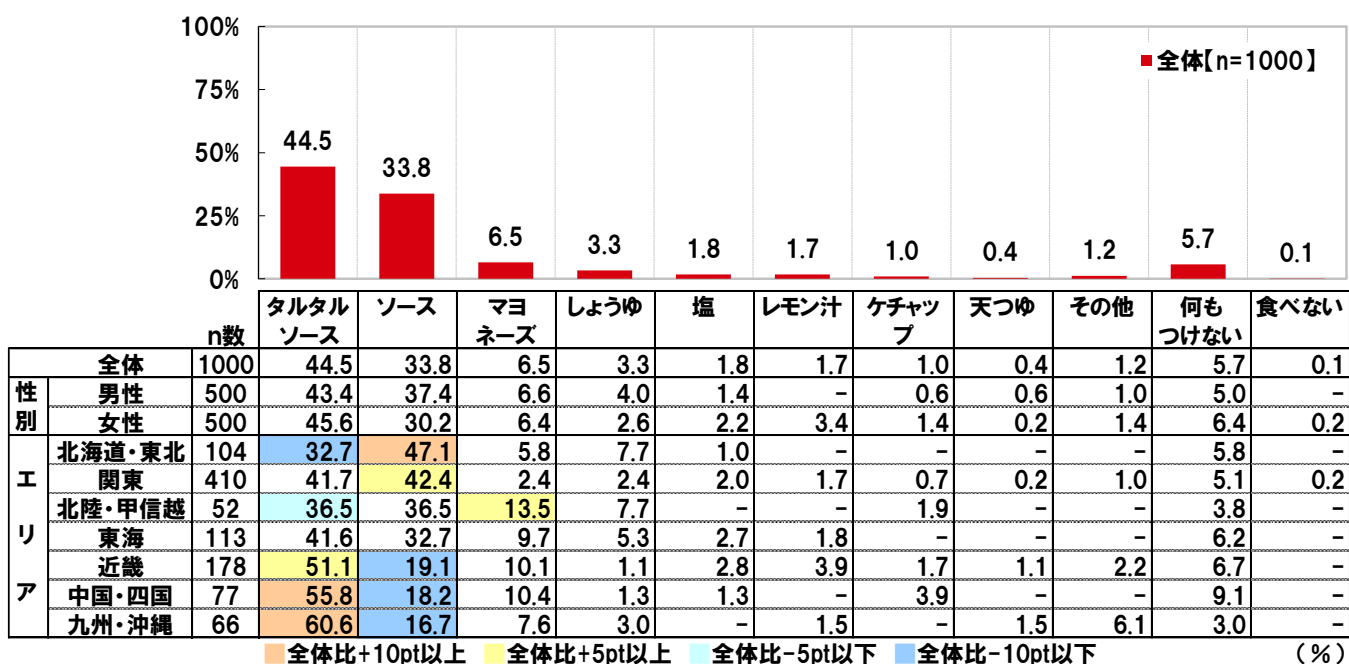
【図 7】

◆エビの天ぷらにつけることが最も多いもの [自由回答形式]



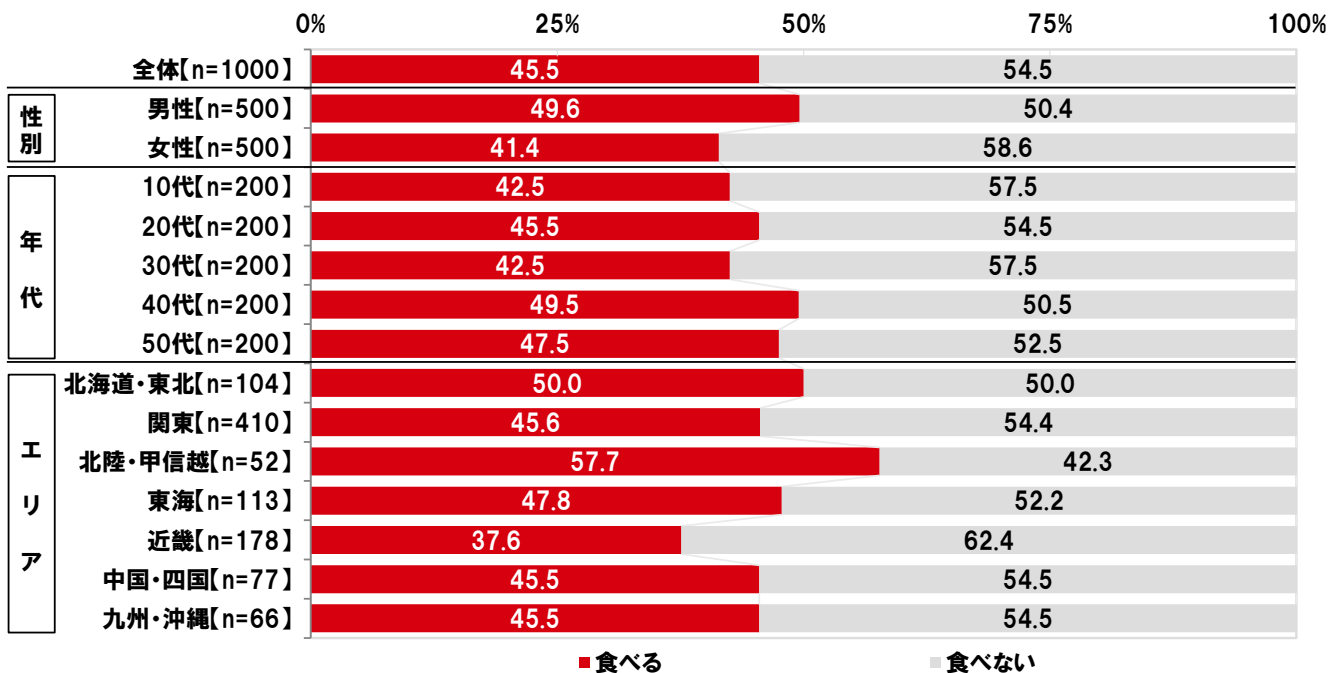
【図 8】

◆エビフライにつけることが最も多いもの [自由回答形式]



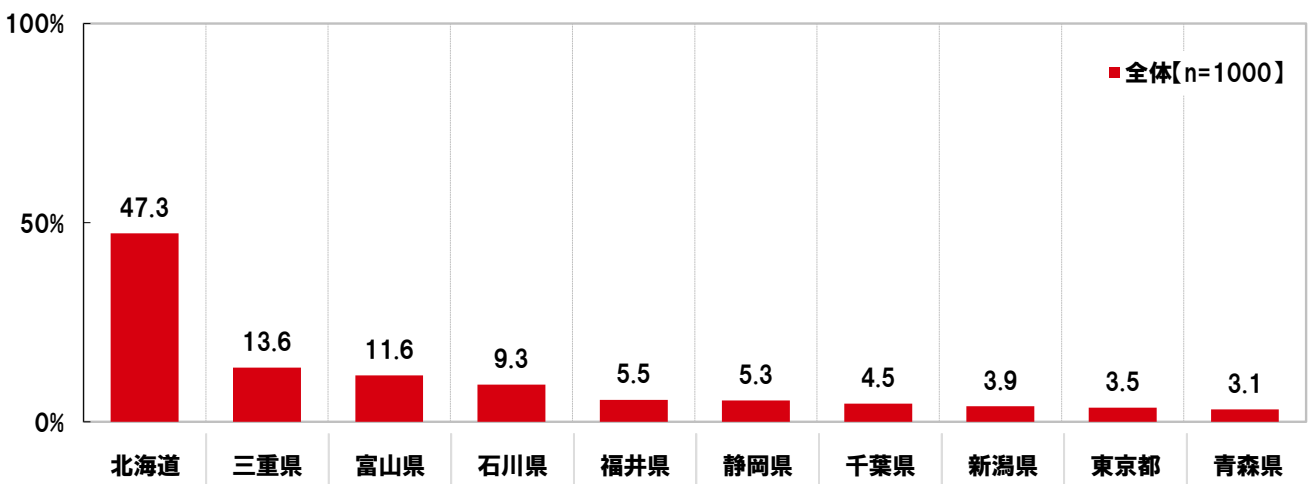
【図 9】

◆エビフライやエビの天ぷらのしっぽを食べるか食べないか [単一回答形式]



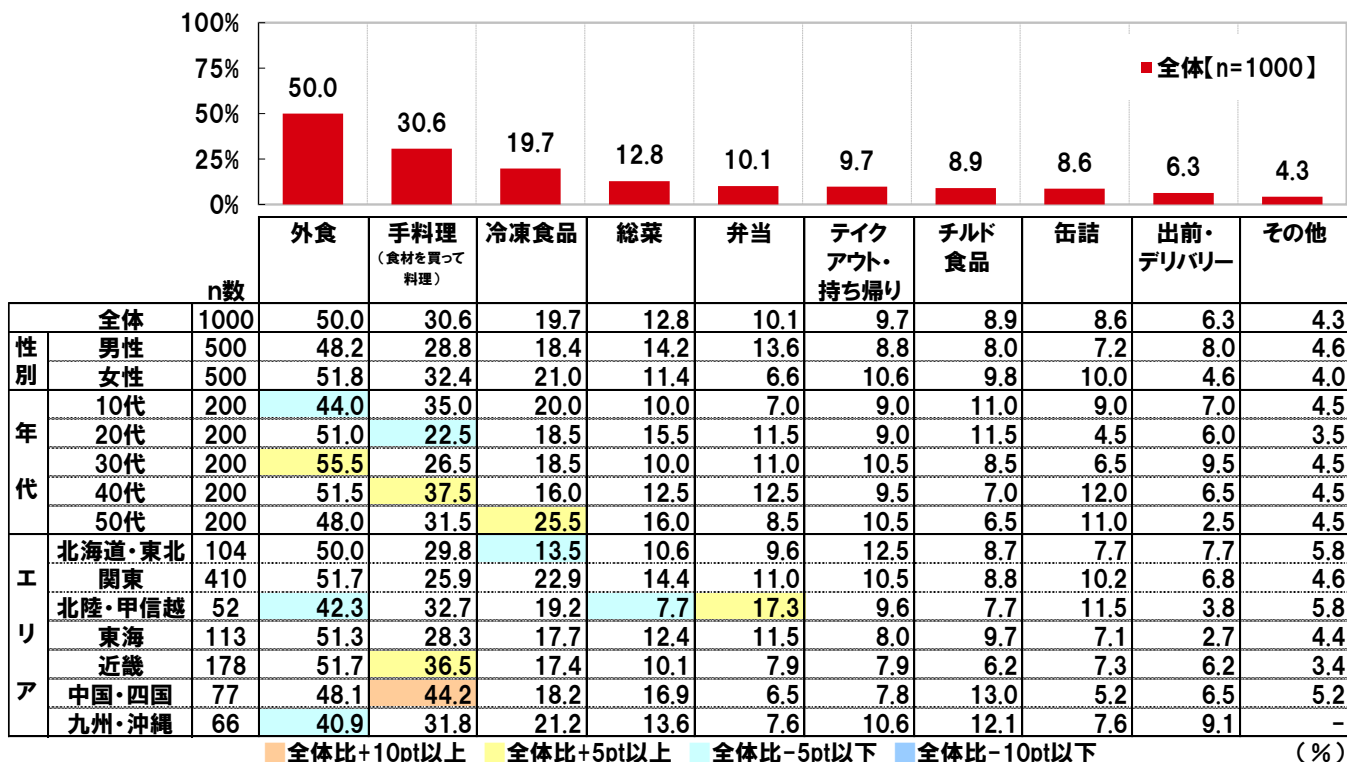
【図 10】

◆エビを食べに行きたい都道府県 [複数回答形式] ※上位10位までを表示



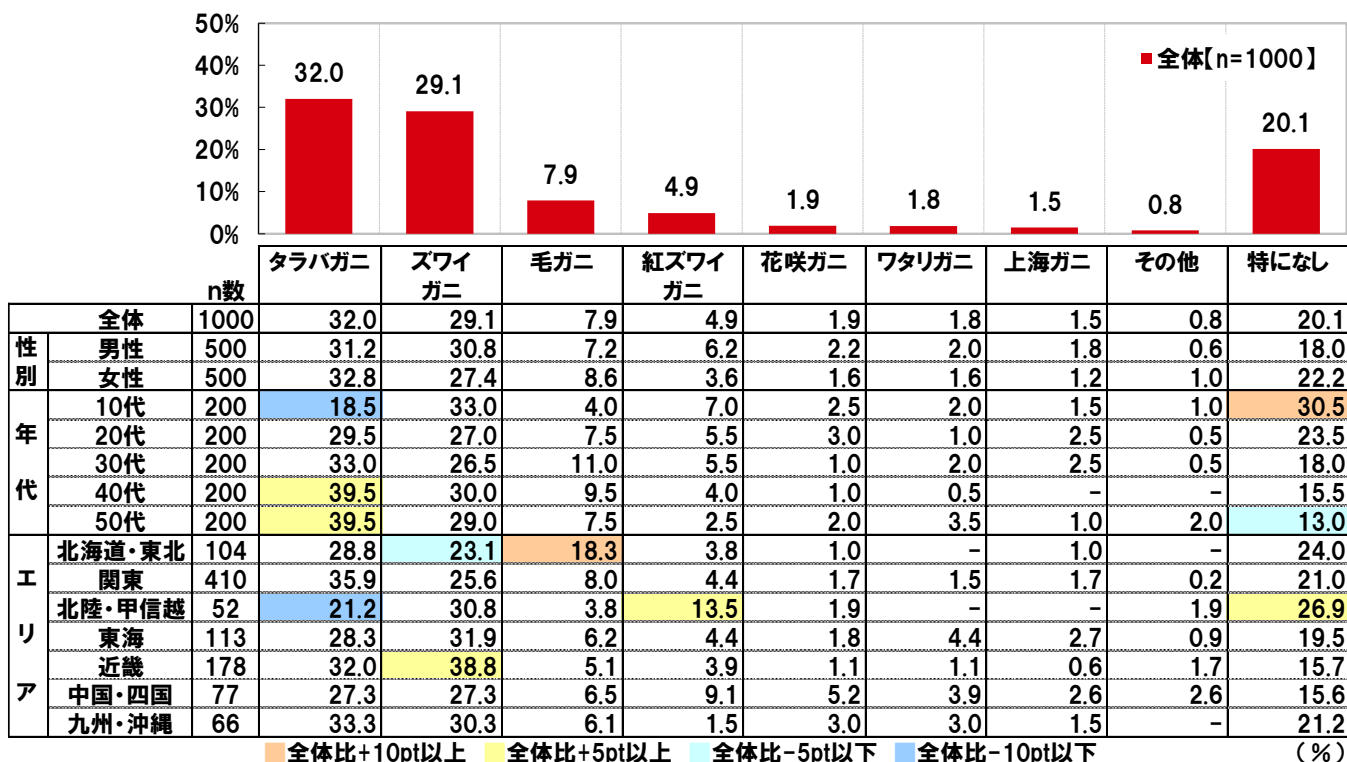
【図 11】

◆どのようにしてカニを食べているか [複数回答形式]



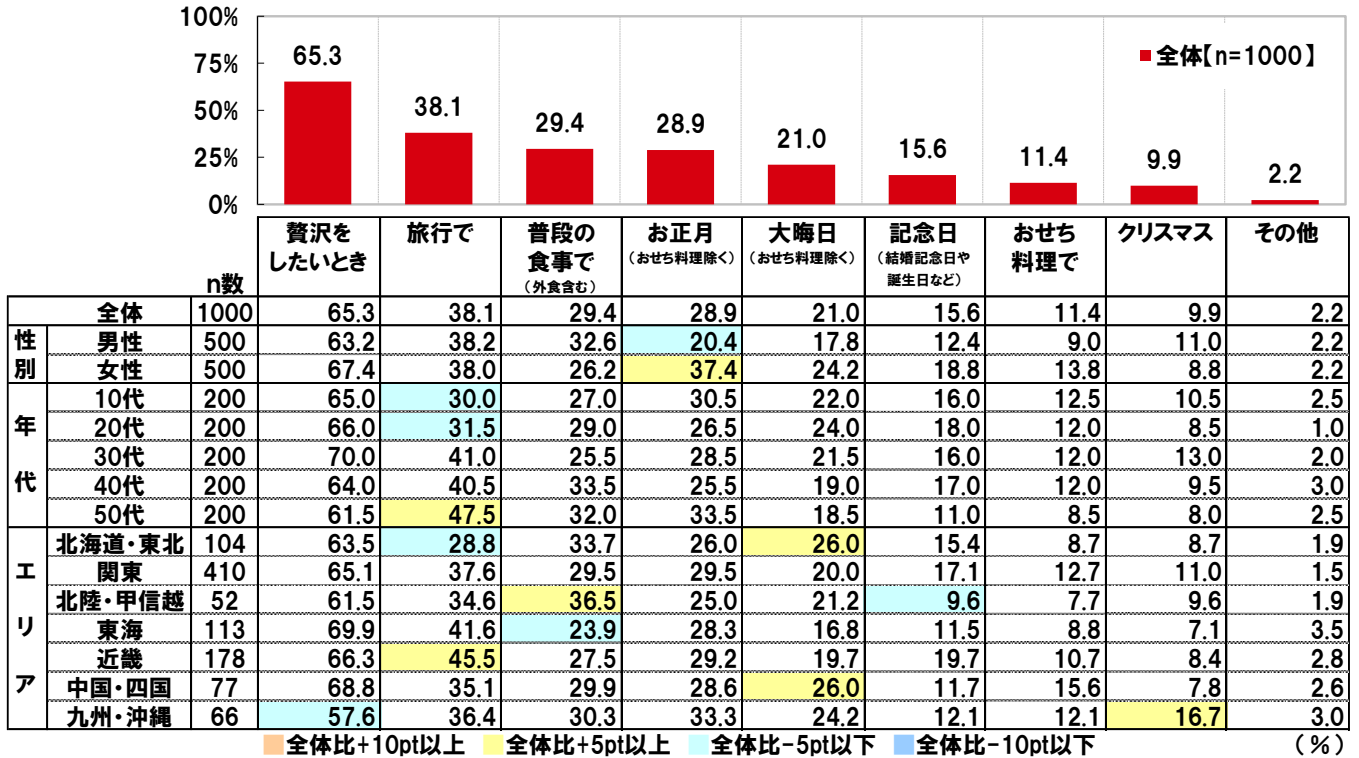
【図 12】

◆最も好きなカニの種類 [単一回答形式]



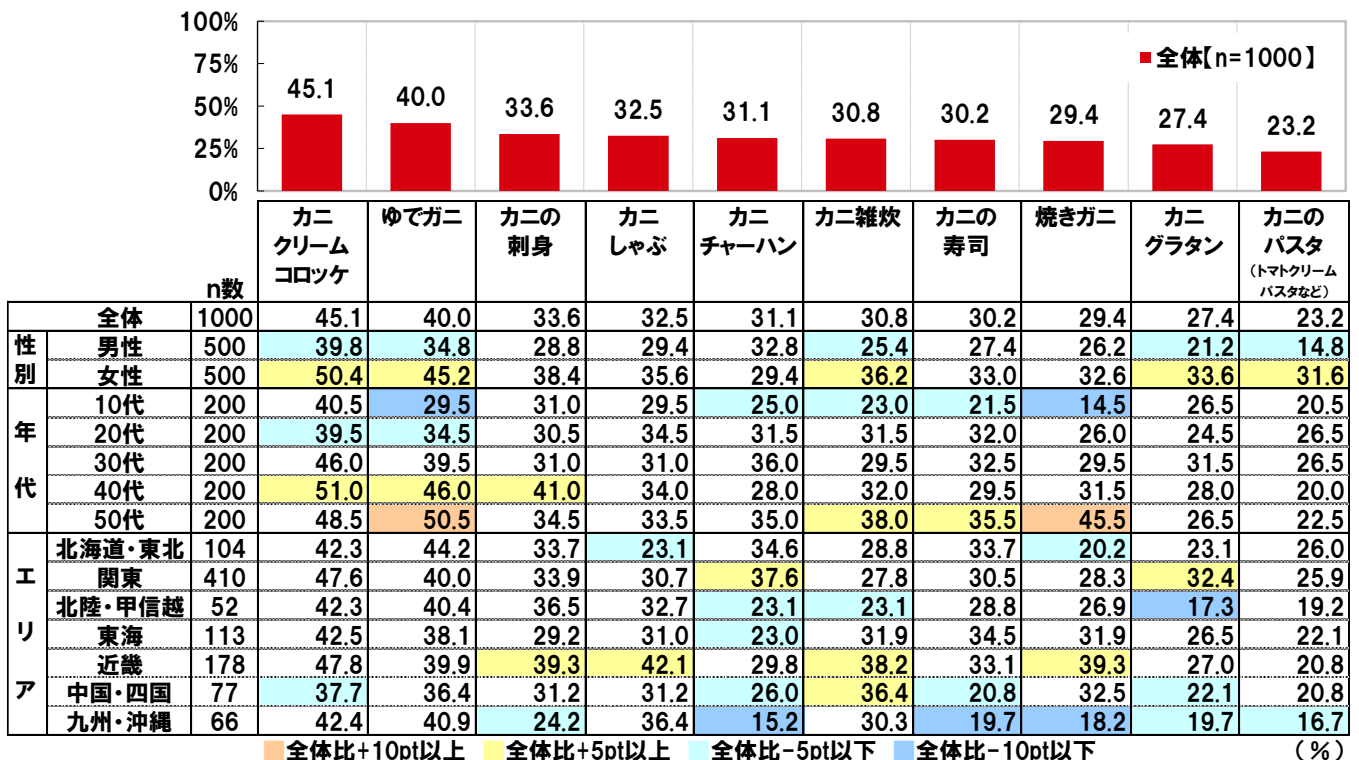
【図 13】

◆カニ料理を食べたいとき [複数回答形式]



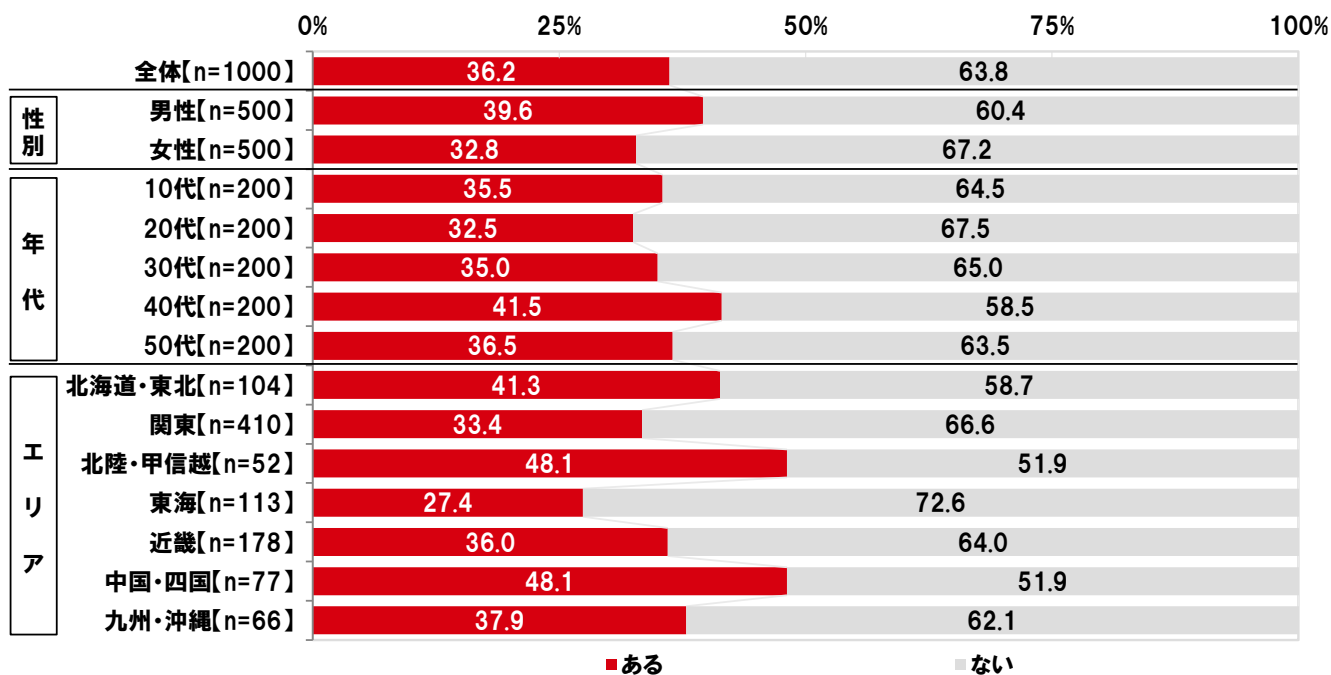
【図 14】

◆好きなカニ料理 [複数回答形式] ※上位10位までを表示



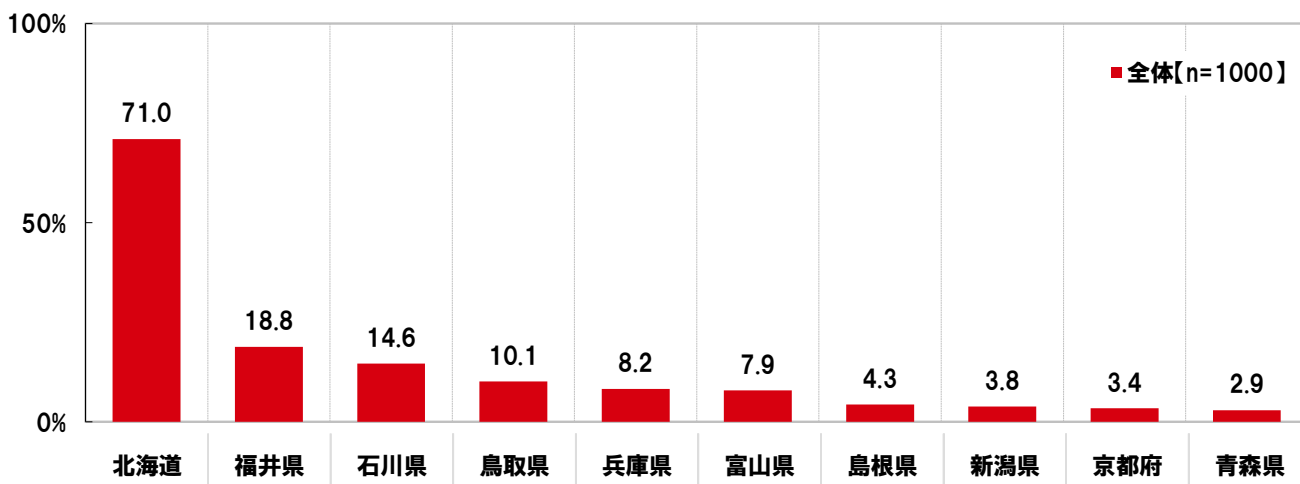
【図 15】

◆カニをきれいに食べる自信はあるかないか [単一回答形式]



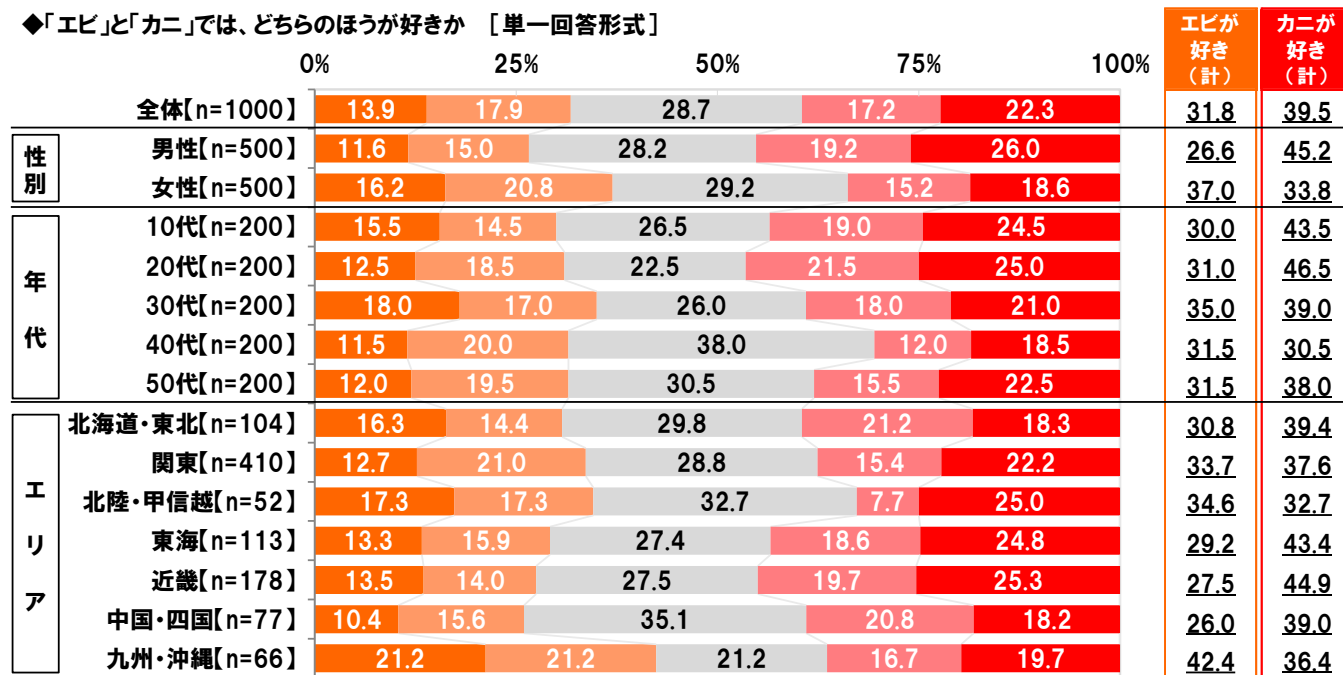
【図 16】

◆カニを食べに行きたい都道府県 [複数回答形式] ※上位10位までを表示



【図 17】

◆「エビ」と「カニ」では、どちらのほうが好きか [単一回答形式]

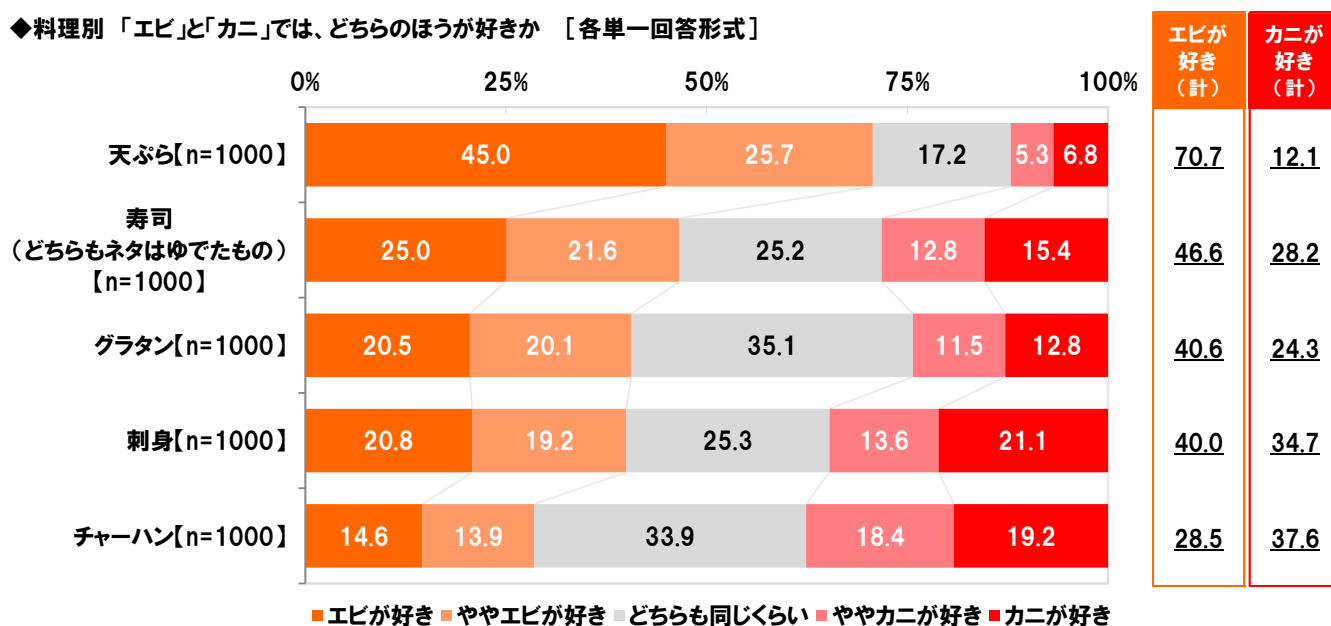


■エビが好き ■ややエビが好き ■どちらも同じくらい ■ややカニが好き ■カニが好き

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100と異なる場合があります。

【図 18】

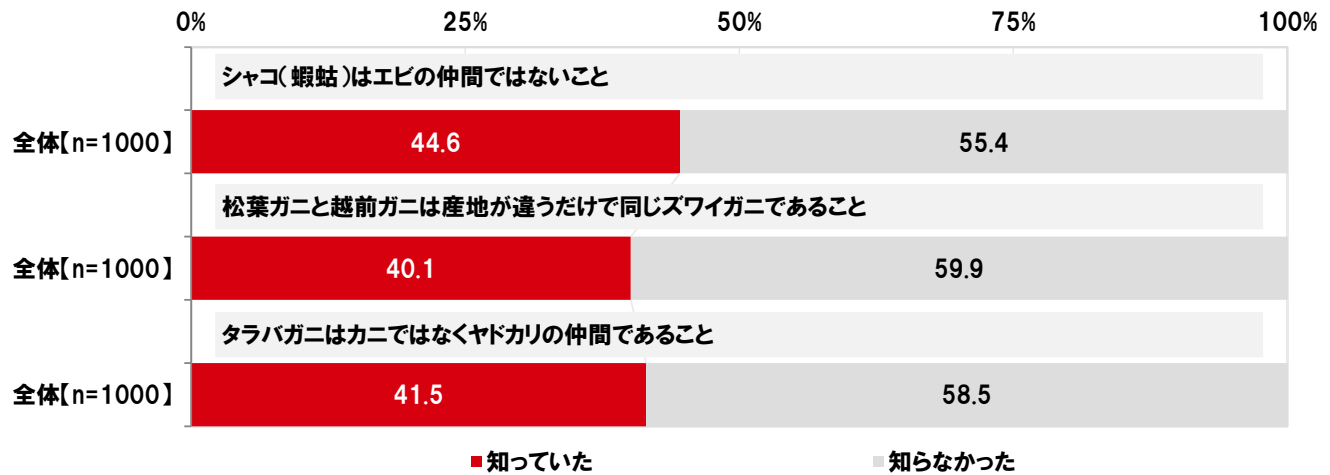
◆料理別「エビ」と「カニ」では、どちらのほうが好きか [各単一回答形式]



■エビが好き ■ややエビが好き ■どちらも同じくらい ■ややカニが好き ■カニが好き

【図 19】

◆エビやカニに関する以下の事柄を知っていたか知らなかったか [各単一回答形式]



【図 20】

◆エビ・カニのように殻を破って(脱皮して)、
来年、大きく飛躍すると思う芸能人 [自由回答形式]
※上位10位までを表示

全体【n=1000】

	芸能人	名
1位	なにわ男子	25
2位	浜辺美波	13
3位	眞栄田郷敦	10
4位	赤楚衛二	9
5位	松下洸平	7
	上白石萌音	7
	森七菜	7
8位	橋本環奈	6
	広瀬すず	6
	杉野遥亮	6

【図 21】

◆一緒にカニを食べに行く“カニデート”をしたいと思う芸能人 [自由回答形式]
※上位10位までを表示

男性[n=500]

	芸能人	名
1位	新垣結衣	21
2位	綾瀬はるか	16
3位	橋本環奈	15
	浜辺美波	15
5位	広瀬すず	14
6位	吉岡里帆	12
	石原さとみ	12
8位	有村架純	11
9位	深田恭子 / 長澤まさみ 白石麻衣	7

女性[n=500]

	芸能人	名
1位	吉沢亮	15
2位	佐藤健	10
3位	中村倫也	9
4位	田中圭	8
5位	松下洸平	7
	相葉雅紀	7
7位	坂口健太郎	6
8位	杉野遥亮	5
9位	綾野剛/菅田将暉/西島秀俊 大泉洋/竹野内豊/二宮和也 など 他多数	4

【図 22】

◆今年の大活躍を伊勢エビでお祝いしたいスポーツ選手
[自由回答形式] ※上位5位までを表示

全体[n=1000]

	スポーツ選手	名
1位	大谷翔平	417
2位	水谷隼	14
3位	羽生結弦	12
4位	ウルフ・アロン	9
	伊藤美誠	9

【図 23】

◆今年の大活躍を伊勢エビでお祝いしたい芸能人
[自由回答形式] ※上位10位までを表示

全体[n=1000]

	芸能人	名
1位	浜辺美波	16
2位	星野源	15
3位	かまいたち	14
4位	新垣結衣	12
5位	吉沢亮	11
6位	なにわ男子/フワちゃん 橋本環奈/千鳥	9
10位	サンドウィッチマン 空気階段/松本人志 有吉弘行	8

男性[n=500]

	芸能人	名
1位	浜辺美波	12
2位	新垣結衣	10
3位	松本人志	8
4位	サンドウィッチマン	7
	千鳥	7
6位	かまいたち	6
	橋本環奈	6
	広瀬すず	5
8位	森七菜	5
	有吉弘行	5

女性[n=500]

	芸能人	名
1位	星野源	12
2位	吉沢亮	10
3位	かまいたち	8
	なにわ男子	8
	フワちゃん	8
	BTS	6
6位	Snow Man	6
	松下洸平	6
9位	空気階段 佐藤健/眞栄田郷敦	5

《調査概要》

- ◆調査タイトル :エビとカニに関する調査2021
- ◆調査対象 :ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
全国の15歳～59歳の男女で、エビとカニの両方を年に1回以上を食べている人
- ◆調査期間 :2021年11月9日～11月11日の3日間
- ◆調査方法 :インターネット調査
- ◆有効回答数 :1,000サンプル
(内訳)

	10代	20代	30代	40代	50代	計
男性	100	100	100	100	100	500
女性	100	100	100	100	100	500

- ◆実施機関 :ネットエイジア株式会社

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、
「マルハニチロ調べ」と付記のうえ
ご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

マルハニチロ株式会社
TEL :03-6833-0826
Eメール :koho@maruha-nichiro.co.jp
受付時間 :9時00分～16時00分(月～金)

■■会社概要■■

代表者名 :代表取締役社長 池見 賢
設立 :1943年3月31日
(2014年4月にマルハニチロ株式会社に社名変更)
所在地 :東京都江東区豊洲3-2-20 豊洲フロント
業務内容 :漁業、養殖、水産物の輸出入・加工・販売、
冷凍食品・レトルト食品・缶詰・練り製品・化成品・飲料の製造・加工・販売、
食肉・飼料原料の輸入、食肉製造・加工・販売

会社および商品の詳細は <https://www.maruha-nichiro.co.jp/> をご覧ください。